

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	a		
○保護者評価実施期間	2024年11月17日		~ 2025年 1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24人	(回答者数) 16人
○従業者評価実施期間	2024年11月17日		~ 2024年 12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・課題を行なっています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・およそ200種類の課題を用意しています。(パズル・ピン差し・マッチング・分類・組み立てなど)</li> <li>・個々の能力にさせて、出来ることを伸ばしつつ、わからないことはスモールステップで少しずつわかるように課題を選び、利用時に3~5この課題を行なっています。</li> <li>・職員が指示をしなくてもわかるようにしていくことで、自立的に行なうことで、自尊心が芽生え育っていきます。</li> </ul>	・今ある課題に加え、個別的に必要と思われる支援や課題を増やしていきたいと思えます。
2	・構造化を行なっています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物理的構造化 部屋ごとに何をやる部屋か目的を決め、児童が混乱しないようにわかりやすく工夫しています。</li> <li>・視覚的構造化 絵カードやボードを使って、予定を表示して、見通しを持てるように、混乱しないように配慮をしています。職員のコミュニケーションの手段に用いたりもしています。</li> </ul>	・今後も利用児童が混乱しないように、見通しを持って過ごせるように、一層の構造化を進めていきたいと思えます。
3	・調理訓練を行なっています。	・オリジナルレシピで、調理の工程など、写真を使い児童にわかりやすい手順書を作成し行なっています。これを基に準備から片付けまで児童一人ひとりが主体で行えるようにしています。個々の能力に応じて、職員がフォローし楽しく活動できるようにしています。	・今後もメニューを増やして行きたいと思えます。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員が集まりにくい	・行っている支援に専門性が必要なため、職員に適性が必要。 時間をかけて教育・養成していく必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できる限り、職員に毎日30分程度の学習する機会を設けて知識を得られるようにします。</li> <li>・行っている支援の内容や事業所の取り組みなど、SNSを通して発信することで興味、思いのある方などの求人につながるようにする。</li> </ul>
2	・行なっている支援がわかってもらづらい	・事業所で行っている支援がなぜ必要なのか、なぜこのようなことをするのかを説明しても、わかってもらづらい。	・実行した支援の報告、見直し 保護者に向け、学習する機会を設けたりし、知識を持ってもらう SNSなどで取り組み成果を発信していく。